

研究課題	ストックの栽培試験（夏播き栽培）
背景・ねらい	ストック秋切り作型では、8月下旬以降の低温（特に秋冷の早い年）の影響で早期抽台するため、切花長不足による品質低下が問題となっている。 前年被覆することで切花長の増加し、採花期が遅くなる傾向が認められた、加えて遮光すると採花期が遅くなるとの現地での例もあり、本試験では、被覆資材が切花品質に与える影響を調べることで、秋切りストックの品質向上が図れるかどうかを検討する。
担当者名	山口 次郎, 渡辺 智之, 石部 万葉
研究期間	2016～（2年目）

1 目的

被覆の有無及び被覆資材の違いによる切花品質への影響を、系統別に調べることを目的とする。

2 方法

(1) 供試品種 *カルテット系及びスパーク系はスプレータイプ

アイアン系 : ホワイト, マリン, ローズ, アプリコット

カルテット系 : ホワイト, マリン, チェリー, アプリコット 2

スパーク系 : ホワイト

(2) 試験区の構成・規模

1区に1品種42本植えて2反復

青色区 : 青色不織布*でトンネル被覆（遮光率15%）

(*商品名: 青パオパオ 三菱ケミカルアグリドリーム株式会社)

黒寒冷紗区 : 遮光率50%の黒寒冷紗でトンネル被覆

対照区 : 被覆なし

(3) 耕種概要

ア 播種・定植: 7月20日播種（セルトレー200穴）、8月7日定植

イ 栽植様式: 畝幅130cm・条間12cm・株間12cm・6条植え

(7条中央部灌水チューブ設置)

ウ 施肥: 基肥 (kg/10a) N-P₂O₅-K₂O=15-15-15

エ 被覆: 定植から9月11日まで被覆

オ 保温: 11月12日二重カーテン保温開始

(4) 調査項目

ア 収量調査

イ 形質調査（切花長、茎径、節数、側枝数、花穂長、花蕾数、重量、葉色）

3 結果の概要

(1) 当初の予定は年内採花を目的としていたため、採花調査は12月26日で打ち切った。

(2) 設定した3区間の平均採花日を比較すると、供試した全ての品種が対照区で最も早くなりスパーク、アイアン、カルテットの3系統とも10月下旬の採花となった。被覆をした2区の採花は、スパーク、カルテットの分枝2系統は黒寒冷紗区で最も遅くなる傾向にあったが、アイアン系（1本立）品種は青色区が最も遅くなった（表1-1, 1-2, 1-3）。

本年の気温は9月以降低めに推移し、特に採花の始まる10月中旬以降かなり低い日が続いたため、被覆した2区の花の進みが緩慢となった。

(3) 採花率は、アイアン、カルテット、スパークの3系統とも対照区で90%以上と高かったが、被覆をした2区は低温の影響で年内に採花できなかったものが20～30%ほどあった（表1-1, 1-2, 1-3, 図1）。

(4) 切花長はスパーク、アイアン、カルテットの3系統とも対照区に比べ被覆を行った区で長くなり、その差はスパーク、カルテット系で10cm、アイアン系は約20cm程であった。切花の全体的なボリューム面では、青色区の重量・茎径・側枝数等の数値が3区

で最も低くなっているが、原因については判然としない（表 1-1, 1-2, 1-3, 図 1）。

- (5) 本試験の結果では、青色不織布、黒寒冷紗両区の傾向を比較すると、程度は違うものの効果的には同じと思われ、資材の効果としては遮光と考えて良いと推察される。
- (6) 遮光することで、ある程度の期間、花芽分化を抑制する効果が認められたが、結果として採花期が遅くなった分、低温の影響を受け花芽分化のばらつきや未採花発生の要因となったと考えられる。そのため、今後は遮光期間等の検討が必要となると思われる。

表1-1 スパーク系切花結果

品種名	試験区	平均採花日 (月/日)	到花日数 (日)	採花率 (%)	切花長 (cm)	茎径 (mm)	節数 (節)	側枝数 (本)	花蕾数 (個)	重量 (g)	葉色 (SPAD)
スパークホホワイト	青色	11/15	118.2	97.6	57.8 b	6.1	42.8	3.8	10.9	54.9	36.2
	黒寒冷紗	11/12	115.5	94.0	65.9 b	7.9	41.5	6.4	13.3	104.0	43.3
	対照	10/17	89.5	100.0	54.1 a	8.2	39.1	8.5	12.0	102.6	43.4

表1-2 カルテット系切花結果

品種名	試験区	平均採花日 (月/日)	到花日数 (日)	採花率 (%)	切花長 (cm)	茎径 (mm)	節数 (節)	側枝数 (本)	花蕾数 (個)	重量 (g)	葉色 (SPAD)
カルテット系	青色	11/14	117.2	77.1	62.1 b	7.0	48.2	4.9	11.2	70.9	41.2
	黒寒冷紗	11/19	123.0	83.9	67.9 c	8.0	45.7	6.1	13.7	109.0	44.4
	対照	10/19	91.9	100.0	54.5 a	8.1	42.0	7.4	12.1	102.6	41.3
カルテットホホワイト	青色	11/6	109.2	95.2	57.4 b	6.4	43.8	5.4	10.5	65.7	36.7
	黒寒冷紗	11/15	118.1	95.2	63.1 c	7.8	41.8	7.6	12.7	101.9	43.3
	対照	10/14	86.9	100.0	53.0 a	7.9	40.3	8.3	11.6	94.8	41.3
カルテットマリソ	青色	11/10	113.5	56.0	62.3 b	7.4	47.4	5.3	11.6	80.2	46.8
	黒寒冷紗	11/24	127.6	78.6	71.3 c	8.0	49.3	4.8	15.1	108.6	45.9
	対照	10/22	94.2	98.8	52.9 a	8.1	44.3	6.1	12.7	93.4	43.0
カルテットチェリー	青色	11/20	123.0	90.5	56.2 a	6.1	39.0	5.1	11.3	58.6	40.9
	黒寒冷紗	11/20	123.5	88.1	65.2 b	7.6	40.4	6.7	13.0	92.6	42.6
	対照	10/17	89.9	100.0	54.5 a	7.8	39.2	8.7	12.1	104.5	41.6
カルテットアブリコット	青色	11/20	124.0	66.7	66.7 b	7.4	53.5	4.2	11.7	80.6	41.3
	黒寒冷紗	11/20	123.7	73.8	71.8 c	8.7	51.6	5.2	14.0	132.9	45.7
	対照	10/24	96.1	100.0	57.8 a	8.7	44.3	6.6	12.0	117.9	44.7

表1-3 アイアン系切花結果

品種名	試験区	平均採花日 (月/日)	到花日数 (日)	採花率 (%)	切花長 (cm)	茎径 (mm)	節数 (節)	花穂長 (cm)	花蕾数 (個)	重量 (g)	葉色 (SPAD)
アイアン系	青色	12/3	137.0	74.1	78.7 b	7.4	82.1	11.5	29.2	106.9	45.4
	黒寒冷紗	11/25	128.5	81.0	80.6 b	8.7	81.6	12.9	32.2	141.9	46.4
	対照	10/25	97.9	95.2	62.3 a	8.1	65.7	11.2	27.3	114.4	44.7
アイアンホホワイト	青色	11/28	132.0	89.3	76.1 b	7.7	76.5	11.2	27.5	106.9	45.4
	黒寒冷紗	11/25	128.2	90.5	80.1 b	8.3	76.4	12.1	32.3	130.7	47.2
	対照	10/19	91.5	96.4	63.2 a	8.1	61.0	11.6	26.9	112.5	44.7
アイアンマリソ	青色	12/9	142.8	84.5	82.9 b	7.0	84.4	12.3	31.1	96.8	43.1
	黒寒冷紗	11/28	131.5	79.8	81.8 b	8.6	85.0	14.3	32.3	137.0	46.5
	対照	10/30	102.6	97.6	61.4 a	8.1	68.1	11.2	26.0	105.0	42.9
アイアンローズ	青色	12/1	134.1	66.7	79.4 b	8.0	86.1	12.3	28.9	117.9	46.5
	黒寒冷紗	11/30	133.4	78.6	82.7 b	9.1	85.6	13.6	31.8	151.7	47.1
	対照	10/25	97.8	97.6	62.3 a	8.8	61.6	12.1	28.8	123.2	46.8
アイアンアブリコット	青色	12/6	139.6	56.0	77.4 b	6.8	82.6	10.4	29.7	85.0	41.3
	黒寒冷紗	11/17	120.7	75.0	78.0 b	8.7	79.4	11.7	32.5	148.3	45.1
	対照	10/27	99.6	89.3	62.2 a	8.1	67.9	10.7	27.5	116.9	44.2

到花日数：播種から平均採花日までの日数

採花率：採花本数/定植本数

異なる英文字間に5%水準で有意差あり (Tukeyの多重検定)

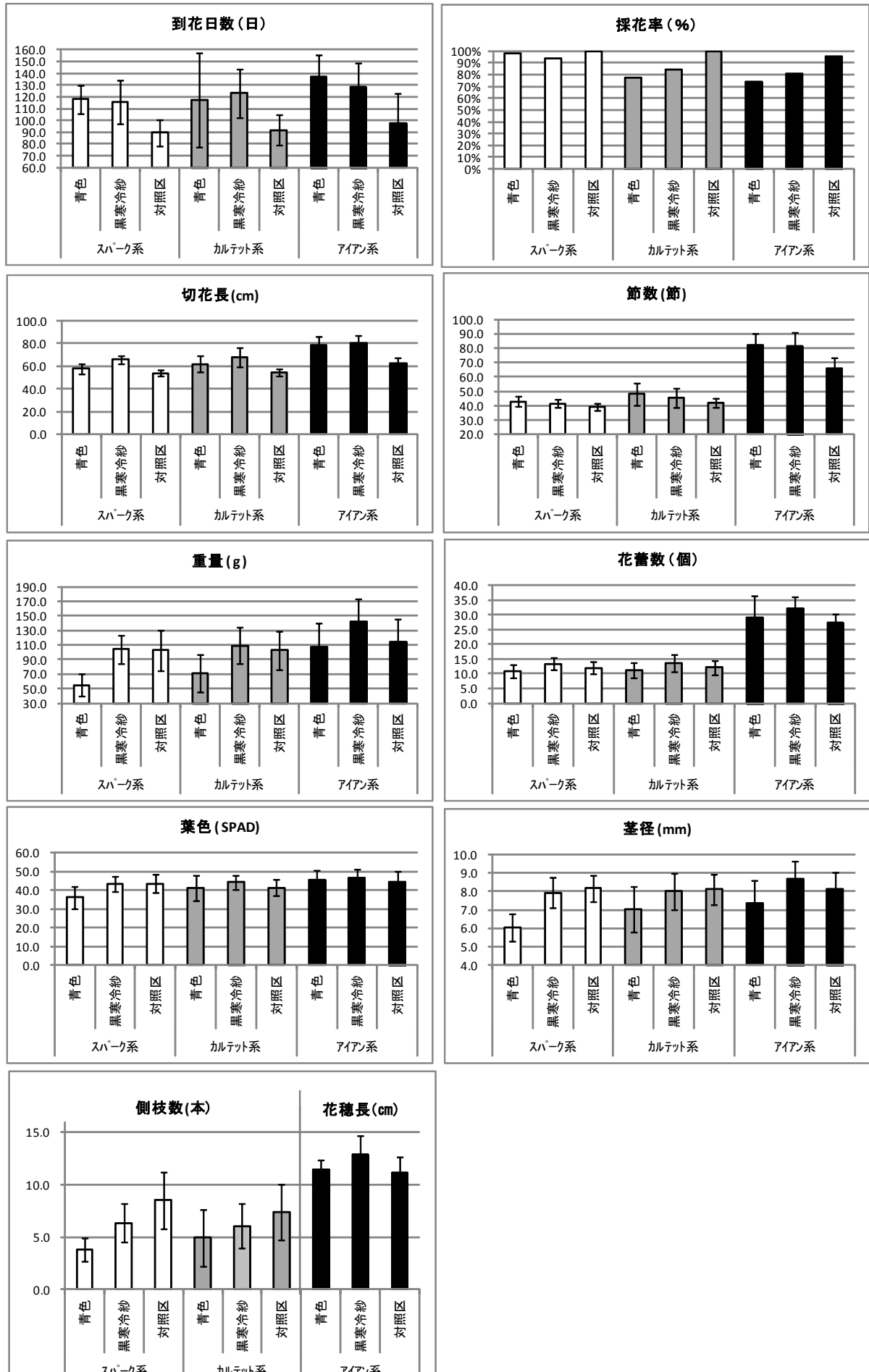


図1 系統別切花形質